

再びその人らしい生活に

ふれあい ひろば

2020年 秋号 Vol.94

愛仁会リハビリテーション病院

三島圏域地域リハビリテーション
地域支援センター

- 住所：高槻市白梅町5番7号
- 電話：072-683-1212
- URL：http://ajinkai.or.jp



- 1面 あなたの装具は足に合っていますか？
- 2面 【連載】セラピストだより④ / コロナ禍での家族指導カンファレンス
- 3面 地域クリニックとの連携の中で②
- 4面 患者さまだより② / 連載 高槻在宅サービスセンターだより



あなたの**装具**は 足に合っていますか？

診 療 部 越智 文雄

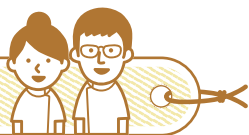


脳卒中等で足に麻痺が残ったときには足に装具を着けます。脳卒中ではつま先が下向きになる尖足が多く、歩くと足がつま先から地面に着いてしまうので、下肢装具は主につま先を上を持ち上げ、足が踵から地面につくようにするものです。脳卒中等でリハビリ病院に入院した方で装具が必要な方は、入院中に装具を作ったはずですが、下肢の装具には大きく分けて、膝の上から足までである長下肢装具と、膝下から足までの短下肢装具があります。長下肢装具は主に歩行訓練用なので、日常生活で使っている装具は、短下肢装具が多いと思います。短下肢装具には両側に金属の支柱がついた両側支柱付き装具やプラスチック装具があり、プラスチック装具にも足継手があるタイプとないタイプがあります。装具は麻痺の程度や関節の硬さによって適応が異なります。軽くて小さな装具が好まれる傾向がありますが、軽くて小さな装具ほど矯正力が弱く、麻痺や筋緊張が強い場合は良い歩き方ができないことがあります。

装具は日頃どれくらい歩くかにもよりますが、大体2年から3年で古くなり、修理や作り直しが必要になります。また足が太くなったり逆に痩せて装具が合わなくなることもあります。装具から変な音がしている、あるいは合わなくなった、当たって痛いという時は装具の専門家に見てもらいましょう。愛仁会リハビリテーション

病院では毎週木曜日装具外来を行い、装具に関する患者様の相談に乗っています。装具外来ではリハビリテーション科専門医、理学療法士、義肢装具士が合同で患者を診察し、適切な装具の選択、装具の修理や作り直しに対応しています。装具が古くなった方、合わなくなった方、他の装具も試してみたい方は装具外来にお越しください。なお装具外来は予約制ですので事前に病院受付まで電話でご連絡をいただき、予約をお願いします。皆様の来院をお待ちしています。





車椅子のレンタルシステム

リハ技術部 理学療法科 白井 宏樹

病院の車椅子は一般的に、病院が備品として管理しているものを使用することが多いですが、サイズに限られる、老朽化などの問題により患者さまに合った車椅子の提供が難しいことも少なくありません。車椅子が座る方の身体に適したものでなければ、姿勢は崩れ、お尻が痛くなり、床

ずれができる危険性が高まります。食事では食べこぼしなどにも繋がり生活面への悪影響もでてしまいます。

そこで当院では様々な種類・機能をもった車椅子を扱う業者と提携し「車椅子のレンタルシステム」を導入しています。レンタル費用は病院負担であり患者さまへの負担はありません。理学療法士による評価の上、患者さまひとり一人

に適した車椅子の提供を目指しています。身体に合った車椅子に座っていただいたとき、「楽に座れる」、「お尻が痛くならずこれなら座っていただける」、「車椅子を漕ぐのが軽くなった」などの声をいただくことがあります。このような車椅子の提供体制を通して患者さまの日常における動作が行いやすくなるように、また変形や床ずれがなくお過ごしいただけることを目指し今後も取り組んでいきたいと思えます。



コロナ禍での

家族指導カンファレンス

作業療法科 西田 明日香

今年度に入り新型コロナウイルス感染拡大によって、当院での面会に制限が設けられました。リハビリテーションセンターも入室禁止としておりますので、ご家族様への指導も面会中の15分と制限した中で行わせていただいています。

当院では感染が拡大する以前から「家族指導カンファレンス」という会議を各病棟で週1回開催していました。ここでは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の病棟リーダーが集まり、ご家族様に対する指導の必要性やスタッフへの助言を行っています。ご家族様に対して直接指導の時間が短縮された今、指導

の内容や資料提供の方法、要点がスムーズに伝わっているかなども話し合っています。

患者様がどのようにご自宅で過ごされるのか、どのように介護すればいいのかなど、ご自宅へお帰りになれる際は様々な不安や疑問が出てこられるかと思えます。そんなご家族様の不安や疑問に対応できるよう伝え方を工夫し、安心してより良い在宅生活へお帰りいただけるように頑張っています。





むねみつ ホームメディカルクリニック

脳神経外科・脳神経内科

〒569-0077 大阪府高槻市野見町5-45 Diamante2020 3F

TEL072-661-2100



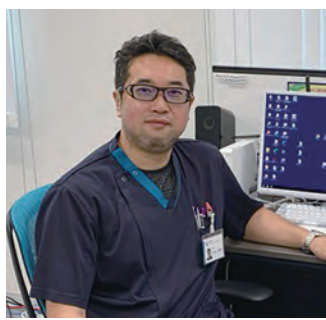
日々の診療でお世話になっているむねみつホームメディカルクリニック 宗光 俊博 院長先生にインタビューさせていただきました。

開業された経緯

元々脳神経外科医として、病院で手術やカテーテルなどの急性期治療に携わってこられました。患者様の治療が落ち着かれても、家に帰ってから診療してもらえ医療機関が決まらず退院できないことがあったそうです。そこで、先生自身が在宅で診療することで、退院を希望する患者様のお手伝いができればと思われ、開業されたとのことでした。また、先生は高槻で生まれ育ったそうで、在宅診療を通じて地元へ貢献できればと話して下さいました。

クリニックの特徴

ご自宅に訪問する訪問診療を専門にされており、系列の訪問看護ステーションTenderly(テンダリー)と連携して24時間365日訪問が可能です。訪問範囲は高槻市、茨木市、島本町、摂津市(北部)と広範囲に訪問されています。脳卒中、てんかん、神経難病はもちろん、がんや認知症など様々なご病気を診られています。透析が必要な患者様以外は対応されているとのこと。勤務医時代には重症な患者様の全身管理をおこなっておられたので、ご自宅に対応することが難しい重症な患者様を積極的に対応されています。そのために、体温、血圧、呼吸、脈拍等をオンラインでモニター管理できるよう体制を整備されているとのこと。電波の飛ぶ機器を患者様に装着いただくだけで、いつでも状態を先生に確認いただくことができます。病状という目に見えないものを数値化することで患者様、ご家族様の安心にも繋がっているとのことでした。先生としてはIOT



◀宗光 俊博 院長

*診療時間(24時間住診可能)

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~12:00	★	●	★	●	★
13:00~17:00	●	●	●	●	●

●…訪問診療

★…外来(9:00~11:00 完全予約制)

※外来受診希望される患者さまは電話で予約をお取りください

(休診日) 土曜・日曜・祝日(緊急対応はいつでも可能)

*アクセス JR「高槻」駅より……………徒歩約10分
阪急「高槻市」駅から……………徒歩10分



を駆使することで、遠隔診療を可能とし、在宅診療のあり方を変えていくことができればとお考えとのこと。

先生に訪問診療をお願いするといつも快く引き受け下さり、フットワーク軽く病院にお越しになられて、退院前に打ち合わせをさせていただいています。穏やかで、とても頼りがいのある先生です。

この度はお忙しい中お時間いただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



INTERVIEW

インタビュー

地域医療部 黒岩 克己

Uさんは2019年11月に右大腿骨頸部骨折後のリハビリ目的で当院へ転院してこられました。起立・歩行練習をしていましたが、排尿障害など出現したため、かかりつけの総合病院を受診したところ、



胸髄の病気がみつき、そのまま転院、数日後に手術を受けました。12時間に及ぶ手術を経て、2020年2月再度リハビリ病院へ戻ってこられました。

その後熱心にリハビリに取り組まれ、お部屋の中であれば杖歩行が可能となるまで回復しました。住宅改修を行って自宅に退院、今は当院の通院リハビリを利用しておられます。

Q 通院リハビリはいかがですか？

A. 楽しいです！自宅からバギーを押して通っています。最初は片道25分かかっていましたが今は15分位になり歩くのが早くなりました。

Q 困っていることは？

A. 家のお風呂が入りづらいことが一番困っています。今はデイサービスを利用しています。

Q 入院中、良かったことは？

A. 毎日、時間を決めて、集団で「起立訓練」をした事がとても良かったと思います。スタッフの皆さん、患者さんで声を掛け合って数を数えながら立ったり座ったりの練習で足の力がつきました。

いつも前向きで明るいUさんから、こちらもパワーを頂きました。本当にありがとうございました。



愛仁会高槻在宅サービスセンターだより

看護師がご自宅へお伺いする訪問看護を利用されたAさんをご紹介します。Aさんは大腸癌で、訪問看護を始めた11月末はベッド上でほぼ寝たままの生活をされていましたが、食事量も少なく、訪問して点滴を行っていただいたある日、Aさんに何かしたいことはありますか、とお伺いしました。「せやない！お花見行きたいな！」「無理やろうな」と仰いました。Aさんのご主人に確認すると、「なんとか連れてつてやりなさいな」と同じ思いであることがわかりました。近くを探すとさくら遊園が約450mのところにあると判断しました。ケアマネージャーや



希望の桜 ～かけがえのない日常と笑顔を支えたい～

高槻在宅サービスセンター 訪問看護科 小西 純子

福祉用具の担当者との会議を実施、医師にも了承を得て、車椅子や昇降機をレンタルし、お花見に行く目標を立てました。Aさんはその目標に向けて、座る練習や、足の運動にも意欲的で、苦手だった補助食品も摂取して下さり、ご主人もお料理を頑張って下さいました。すると、座る時間が持てるようになり、栄養も取れるようになり、点滴をしなくても良いようになり、桜が満開になる4月15日には、お花見に行くことができたのです。Aさんは「きれいやない、ご主人は「見に来られて良かったね」と、満面の笑みを浮かべられました。今では、屋内を歩いて移動できるようになりました。訪問看護では、在宅で生活する方が幸せに暮らせるようお支えすることを目標に、ケアマネージャーはじめ多くの専門職とチームワークを頂いています。